



令和 7 年

5 月 健やか子育てだより

大田区保育サービス課
保 育 園 看 護 師

今月のテーマ

蚊 ～対応と予防～



蚊は、春から秋にかけて活動します。蚊に刺されると、症状が強くて長引くことがあります。蚊に刺されたときの対応と予防についてお知らせします。

《蚊の生態について》

- ・都内では2～3種類の蚊が生息しています。吸血する時間帯も蚊の種類によって異なります。
- ・吐く息や皮膚から出る二酸化炭素、汗などの匂いで人に引き寄せられてきますが、特にこどもは、汗をかきやすく体温が高いため、刺されやすい傾向にあります。
- ・白か黒の2色しか感知せず、主に黒などの濃い色を好みます。



《こどもが蚊に刺されると…》

- ・アレルギー反応が起こり、かゆみや赤み、腫れなどの症状が出る場合があります。
- ・反応には個人差がありますが、刺された直後のほかに、翌日以降に症状が強くて遅延型反応や、発熱や下痢を起こすこともあります。痒くて掻きこわしてしまうと、そこからとびひなどの感染症になることがあります。

《蚊に刺されたときは》

手当てをしましょう

- ・刺された部位を水で洗い流して清潔にしましょう
- ・かゆみがある時は冷やしたり、虫刺されの薬を塗ったりすると落ち着きます



このような症状があるときは

受診しましょう

- ・強い腫れや赤み、かゆみがある
- ・発熱がある
- ・水ぶくれがある
- ・かきこわしている



日本脳炎の予防接種を 受けましょう

- ・日本脳炎ワクチンにより、蚊に刺された時にかかることのある重篤な脳炎の予防ができます。



《予防のポイント》

- ・出かけるときの服装は、肌の露出を避けるのとよいので、薄手の長そで、長ズボンがよいでしょう
- ・必要に応じて虫よけ剤などを使いましょう
※虫よけ剤は使用可能な年齢の表示があるものがあります。注意事項を確認して使用しましょう
- ・蚊の発生を防止しましょう
※植木鉢などの不要な水たまりをなくしましょう
- ・蚊の侵入を防ぎましょう
※網戸の設置は効果的です
※植え込みや草むらは定期的に草刈りや剪定をして風通しをよくしましょう



参考：大田区ホームページ「蚊」